

講演会型＋子育てサロン型（中学校）

学校名等	養老町立高田中学校
実施日時	平成30年12月5日（水）9:30～11:00
会場	高田中学校 会議室
参加人数	41名
学習課題（分野）	「いのちの授業」（命）
運営者の願い	校区の小学校と連携した活動を考える中、今回初の試みとして、校区小学校と合同で行いました。高田中学校区の小学校3校と高田中学校の保護者を対象とした講演会を開きました。 人には聞きづらく、また子どもたちにどのように伝えたら良いかわからない『性教育』について、講師に「ここいく」さんを招いていのちの授業を体験し、性教育について考える場をもちたいと考え計画しました。

学 習 の 内 容

<開会>

家庭委員長と教頭先生の挨拶の後、講師である、お母さんたちの『いのちの授業』『ここいく』さんを紹介、ご挨拶をいただきました。

<いのちの授業>

普段、小学生や中学生の子どもたちを対象に行っている「いのちの授業」をダイジェストで見せていただきました。「いのち」がどのように誕生するのか、自分の「いのち」がいかに尊い存在なのかを分かりやすく教えていただきました。



対象の子どもたちの年齢に応じて授業の内容を変えてお話しされました。すべて手作りの教材を示しながら、歌、寸劇を取り入れた講話は大変分かりやすく、もっと聞きたい、ぜひ子どもたちにも聞かせたい、と感じる内容でした。

<座談会>



授業の後は、近くに座っている人と6～7人でグループになり、座談会を行いました。小中合同の講演会ということで、子どもの年齢もバラバラな中、それぞれの立場での疑問などを出し合い、講師の先生にアドバイスをいただきました。子どもの年齢によって悩みも違い、異なる年代の子どもをもつ親同士の交流は、とても有意義な時間となりました。

<閉会>

西濃県事務所の酒井先生にご講評をいただき、最後に高田中学校母長の川島さんにお話をいただいて、閉会となりました。

<参加者の感想>

- ・ 性教育は恥ずかしいことではなく、正しい情報を正しく伝えるために、正しい知識を身に付け、子どもと向き合っていきたいと思いました。
- ・ お話を聞いて、子どもを授かった時の気持ち、生まれてきた時の気持ちを思い出しました。命が生まれることの奇跡、感動を改めて感じました。
- ・ 我が子のことを思い浮かべながら話を聞かせていただきました。一人の女として、娘と話ができるようにしていきたいです。家族で「性」に前向きに向き合っていこうと思いました。
- ・ 性のことをどう伝えればいいのか分かりませんでした。子どもは周りから色々聞いてきて知識をもっているの、避けていました。今日のお話を聞いて、恥ずかしがらずに伝えていきたいと感じました。



高田中学校から29名、校区小学校3校から12名の参加があった。

座談会では、疑問や悩みなど、和気あいあいと話すことができ、時間が足りないくらいだった。座談会が終わった後は、「参加して本当によかった」と、皆笑顔になることができた。



子どもの数の減少に伴い、さまざまな活動を、小中連携しながら行っている中で、今回初めて小中合同で行った家庭教育学級だった。子どもの年代は違っても、同じ親としての悩みを交流する中で、共感することや驚くことが多くあり、互いに学び合うことができた。

